

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

記録破りの曇りを表  
現する言葉、激暑・酷  
暑・炎暑が、今年は強  
く印象に残る。熱中症  
対策には、エアコン・  
水分・塩分、十分な休

養などが欠かせないの  
だが、秋野菜は朝晩の  
水を求めて強い日差し  
に耐え忍んでいる。  
山々の残雪も気持ち少  
なく見えてしまうが、  
降雨が少ない中でも、  
残雪から溶け出した水  
の恵みの有難さを強く  
感じ、自然の有難  
さを痛感する時で  
もある。

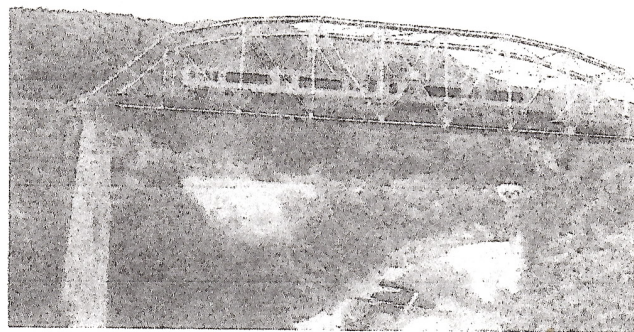
## 新型コロナウイルス

ルスの影響で、特に募  
集型団体旅行やスポー  
ツ合宿の受け入れを主  
にしている形態の営業  
施設の影響が大きいよ  
うだ。8月に気象庁  
は、南米ペルー沖の7  
月の海面水温が基準値  
より低く、来年2月ま

## 「人生百名所」企画への検討も 面白いのではないだろうか

イルスの影響で、学校  
のスキー修学旅行が、  
これまでの個人負担額  
では3密を避ける企画  
が立てられず、中止す  
る事態を多くの学校が  
検討していると顔を曇  
らせる。全国には、学  
校スキー修学旅行を中  
断しているところもあ  
る。心にも運賃しているス  
キー場も多く、もし中  
止するようになれば、  
採算面の目途が立たず  
スキー場運営もできな  
いとの情報もあり、具  
現化してしまえば、該  
当スキー場エリア全体  
の観光関係者の存続に  
も関わる大きな課題  
だ。将来的には、学生  
時代にスキーを体験で  
きない事で、スキー人  
口が激減して、「今後  
のスキー産業がどうな  
るか」との話が強く  
印象に残る。  
小学館が発行してい  
る総合週刊誌ポスト  
の8月合併特大号で、  
旅に関する著書もある  
大前研一さんが、「こ  
れからの旅行の在り方  
を『人生百名所』を選  
んで旅行する事を目標  
にしては」と提言した。  
「花の名所巡り」「紅  
葉巡り」「川下り  
や川沿いを走るド  
ライブ・鉄道旅」  
「宿泊施設巡り」  
などテーマを設定すれ  
ば、多くの面白い企画  
が誕生。「日本人の国  
内旅行消費額は大きく  
膨らむだろう」との内  
容だ。面白いコースと  
して「長野・大町から  
新潟・糸魚川まで流れ  
る姫川に沿った大系

線」の記載には、地元  
では、気づかない川沿  
いの景観が貴重なのだ  
ろうと気づかされた。  
「百名所」の企画は、  
実現力のある魅力な提  
案として認知されるだ  
ろう。大北地域も、関  
係者の前向きな取り組  
みを期待したい。(N  
PO法人信州地域社会  
フォーラム会員)



姫川沿いに、山あいを走る車窓から見える価値  
の位置付けが大切だ。